

FUNABASHI

FIRE DEPARTMENT

新着情報



公式X



公式Facebook



FUNABASHI

FIRE DEPARTMENT

船橋市消防局

作成協力：千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科



船橋市ってどんな街？

船橋市は、東京都心部から約20キロメートル圏内に位置し、65万人を超える市民が暮らす、都市機能と自然環境が調和した活気ある街です。市内には9路線35駅が整備されており、船橋駅から東京駅、西船橋駅から大手町まではそれぞれ約24分と、通勤や通学にも非常に便利な交通アクセスが魅力です。沿岸部には貴重な自然環境である干潟「三番瀬」が広がり、内陸部には工業地や商業地、住宅地、農地がバランスよく点在しており、多様な産業が共存しています。

市内各地では商業施設や商店街が賑わいを見せる一方で、文化・スポーツも盛んに行われており、地域全体に活気と暮らしやすさを感じられます。



船橋市消防局って？

船橋市消防局は職員数が約700人、消防車両等も100台程度保有しており、中核市最大規模の消防本部です。市内に配置された14カ所の消防署所により、市域約85平方キロメートルを管轄しています。消防局で働く勤務パターンは大きく分けて2パターンあり、平日の8時45分から17時15分まで主に事務仕事を行う毎日勤務と、8時45分から翌日の8時45分までの24時間の中で災害活動等に従事する交替制勤務があります。24時間の勤務の中でも、夜間には災害に備えて休憩する仮眠時間が設けられておりますが、いつ出勤するかわからない緊張感がある中での休憩となります。その反面、勤務が終わった後の非番日や丸一日休みの週休日を活用し、プライベートの時間を大切にでき、オン・オフをしっかりと区別できることもメリットです。

次のページでは船橋市消防局の取り組みについて紹介していきます。

ドクターカー（特別救急隊）

船橋市消防局では、1993年に24時間365日体制で救急車に医師が同乗して出動する「ドクターカー」を全国に先駆けて導入しました。通常、救急車を要請すると、要請した場所から一番近い救急車が出動しますが、それに加え、心肺蘇生が必要な重度傷病者が発生した場合や多数の傷病者がいて治療の優先順位を決めなければならない場合等は、ドクターカーも同時に出動します。これにより、現場で医師による初期治療を行うことができ、救命率の向上が期待できます。

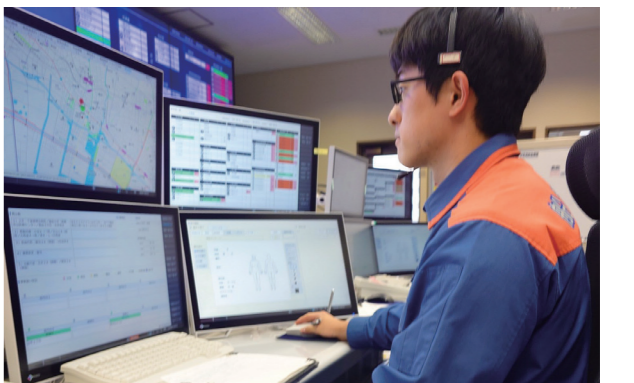
ドクターカーは船橋市立医療センターに隣接している救急ステーションに配備されており、1分1秒を争う救命現場に迅速に駆けつけることができます。また、日頃から医師と救急隊員とが顔の見える関係を構築しやすくなり、様々な現場活動を共に経験することで、同じ目線で活動することができるメリットがあります。



消防指令センター

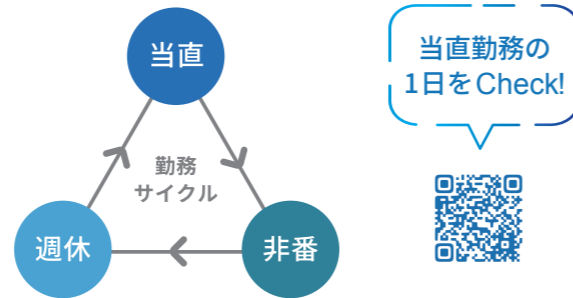
船橋市消防局では、千葉県内で唯一単独で消防指令センターを運用しています。市内の119番通報は全て消防指令センターにつながり、通報を受け付けた指令員は、通報者へ聞き取りを行いながら、災害場所を特定しています。災害場所の特定と併せて、災害種別（火災・救助・救急等）を通報内容から判断し、その場所に最短時間で到着できる緊急車両（消防車・救急車等）を自動的に選別して出動させます。

その他にも、音声による119番通報が難しい方や、外国人からの119番通報にも対応できるようなシステムを構築し、様々な通報に対応しています。また、119番通報時に、音声による情報に加え、通報者のスマートフォンのカメラやスピーカーを活用して、通報者と消防指令センターの間で映像の送受信を行えるシステムにより、通報者が伝えにくい状況であっても、指令員が迅速・的確な判断をすることが可能です。



当直勤務体制

船橋市消防局では、三交替の勤務体制をとっており、8時45分（当直日）から翌日8時45分（非番日）まで、休憩時間を除いた15時間30分を1回の当直勤務としています。



指揮隊

指揮隊は、火災現場等において各隊の活動の指揮を執る部隊で、中央消防署、東消防署、北消防署の3つの消防署に1隊ずつ配置されています。現場での活動方針の決定や無線を活用した現場統括指揮のほか指令室との連絡、情報収集等を主な任務としています。



警備隊

警備隊は消火活動を主な任務としており、いち早く火災現場等へ到着して活動できるよう、地水利調査や火災防ぎょ訓練等を行い、各種災害に備えています。



救助隊

救助隊は専用資機材を100種類以上取り扱う人命救助のスペシャリストであり、船橋市消防局には「高度救助隊」が2隊、「特別救助隊」が1隊配置されており、あらゆる救助事案に対応しています。



救急隊

救急隊は、急病人や交通事故及び災害によるけが人等に応急処置を施しながら医療機関に搬送します。救急隊員は、応急処置の知識及び技術を高めるため、各種研修や高度な救急資器材の取扱訓練に日々励んでいます。



化学隊

化学隊は、NBC災害と呼ばれる毒劇物、放射性物質等に起因した災害に対し、専門知識と専用資機材を活用して救助活動を行います。



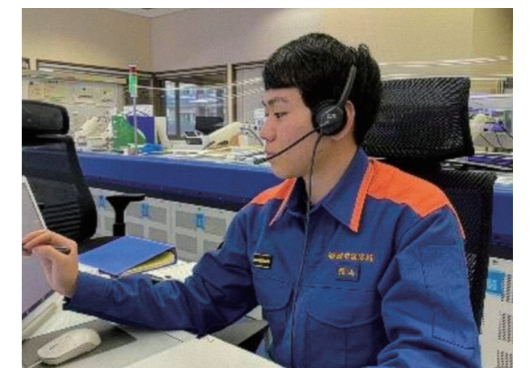
水難救助隊

水難救助隊は、特別な教育を積んだ潜水士資格を有した隊員で編成された隊で、市内における様々な水難救助事案に対応しています。



指令係

指令係は、通報者から119番通報を受け、火災や救急等、各部隊へ迅速に出動を指令するとともに、初期消火や応急手当の口頭指導等を行っています。



総務課

職員の任免、局の総合的な計画の策定、消防計画、消防委員会、消防職員委員会、職員の教育及び研修に関すること。

予防課

建築物の許可等の同意及び危険物製造所等の規制、消防用設備の設置指導、自衛消防組織の育成、火災予防広報、火災の原因及び損害の調査に関すること。

指揮指令課

通信施設の運用及び管理、火災、救急及び救助の通信の受信及び指令、災害現場での指揮統制、安全管理及び情報収集に関すること。

財務課

予算、決算、契約、会計、職員の給与、職員の貸与品、庁舎（消防施設含む）の維持管理、消防車両の整備及び維持管理、警防・救助資機材の維持管理に関すること。

警防課

消防戦術の研究、消防部隊の運用計画・訓練・演習、警防・救助資機材の整備、消防水利の整備、消防訓練センターの運用、救助隊の運用、宅地開発事業に対する指導、消防団の事務に関すること。

救急課

救急業務の企画運営、救急技術の研究・指導、応急手当の普及啓発、医療機関との連絡調整、特別救急隊の運用に関すること。

船橋市消防局では、女性も活躍！

船橋市消防局では多くの女性消防職員が様々な業務で活躍しています。業務に男女の区別はなく、平等に従事していますが、母体保護の観点から化学小隊への配属等、一部に配慮を行っています。

ライフステージに応じた人事配置

女性職員 Aさん



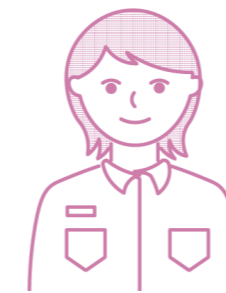
- 入局後 当直勤務（警備隊・救急隊）
- 妊娠後 毎日勤務（予防事務）
- 出産後 毎日勤務（総務事務）
部分休業を取得して、子の保育園の送迎を行う。
- 復帰後 毎日勤務（総務事務）

女性職員 Bさん



- 入局後 当直勤務（救急隊）
- 妊娠後 毎日勤務（予防事務）
- 出産後 1年の育児休業を取得
- 復帰後 毎日勤務（予防事務）
当直勤務（救急隊長）

女性職員の声聞いてみよう！



Cさん

妊娠・出産を経てみてどうですか？

妊娠を伝えることに不安がありましたが、職場の祝福と手厚いサポートで安心して勤務体制を変更でき、復帰後も育児への配慮があり、想像以上に理解のある最高の職場環境だと実感しました。

これからのビジョンはありますか？

女性ならではの視点や対応力は現場や職場で大きな力となり、市民の安心や職場の雰囲気づくりにも貢献できます。今後も女性が働きやすい環境を共に考え、仲間と良い関係を築いていきたいです。



Dさん



休暇制度

休暇一覧

- 年次有給休暇
- 夏季休暇
- 結婚休暇
- 産前産後休暇
- 育児休業
- 部分休業
- リフレッシュ休暇
- 介護休暇
- ボランティア休暇
- 育児短時間勤務
- 子の看護等のための休暇
- etc...



手当について



地域手当



扶養手当



住居手当



通勤手当



特殊勤務手当



休日勤務手当



夜間勤務手当

音楽隊の紹介



消防局音楽隊は、昭和 37 年に発足し、「市民と消防をつなぐ音の架け橋」として、吹奏楽による演奏を通し、火災予防や救急救命普及啓発等の消防広報活動を行い、令和 4 年 4 月に創立 60 周年を迎えました。また、平成 25 年から市民協働化を図り、市民音楽隊員と共に、消防行事や市に関連する公共性の高いイベント等に出演し、防火・防災思想の推進により、市民の安全・安心な暮らしを支えています。

採用案内

1 受験資格 & 試験スケジュール

- 区分 1** 試験を受ける年の 4 月 1 日時点で 21 歳～ 27 歳の人
- 区分 2** 試験を受ける年の 4 月 1 日時点で 17 歳～ 20 歳の人

2 採用予定時期

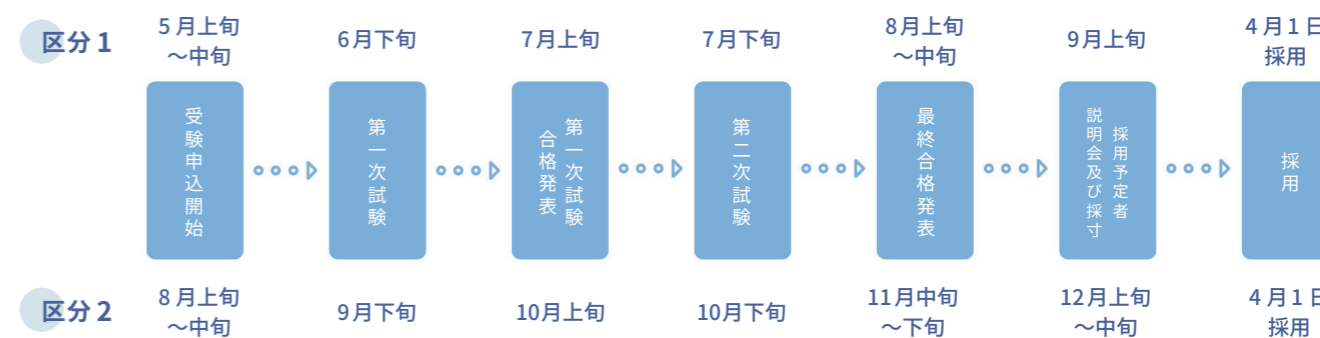
採用試験の合格者は、原則として翌年 4 月 1 日に採用されます。



3 最終合格後のスケジュール

採用に関する説明会等を予定しています。日程の詳細は最終合格者に通知します。

4 申込から採用までの流れ



※上記の内容は予定であり、変更になる場合があります。また、原則として翌年の 4 月 1 日に採用されますが、欠員の状況により意向を確認のうえ、3 月以前に採用されることもあります。

よくある質問

採用試験に関するご質問は、右の QR コードを読み込んでください。読み込むと、「船橋市消防局 採用関連 よくある Q&A」の PDF をご覧いただけます。



東消防署古和釜分署併設の消防訓練センターは、地域住民や学生も利用できる体験型施設です。消火・通報・避難等、様々な訓練が可能です。防災意識を高める学びの場として活用されています。

立坑救助訓練

地下空間やマンホール等、狭く閉鎖された状況下を想定した救助活動を行うことができます。この訓練では、限られた開口部から安全に進入する方法、要救助者を迅速かつ安全に救出する技術、活動中の隊員への空気供給方法等を習得します。



ロープ渡過訓練場

救助活動で用いられるロープ渡過訓練を行うことができます。高所での安全確保や、地上からはしごをかけ、上階に取り残された要救助者を救出する訓練等を行うことができます。



訓練迷路室

煙が充満した室内での避難方法を学ぶことができます。また、消火器や消火栓の使い方、避難経路の確認等を実際に体験することができます。



ドローン操縦訓練

船橋市消防局では、ドローンで撮影した映像を現場責任者や消防指令センターへリアルタイムで伝送するシステムを導入しています。そのため、職員が操縦訓練を行い、操縦技術の向上に努めています。

